

コード	名 称		区分	コード	名 称	
事業名	1047	治山林道維持経費	会計	01	一般会計	
			款	06	農林業費	
			項	02	林業費	
基本 施策	42	持続的で個性的な農林業を実践する	目	02	林業振興費	
			細目	324	治山林道維持経費	
行革大綱の重点事項番号			細々目	01	治山林道維持経費	
担当部課	コード	700100	担当者 氏名	安岡健司	連絡先	47 - 1157 (内線)
	名称	大山田振興課				

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	森林所有者及び林道を利用する人	※対象件数
成果(どうする)	林道の維持修繕をおこなうことにより、安全に通行することができる。また林業を行う上で、木材などの運搬に利用できる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
関連事業		
H21 事業 内容	林道修繕工事費 1,727,250円 林道草刈業務委託料 1,921,500円 小規模土地改良事業等補助金(林道) 1,326,700円 その他維持経費 40,133円	
社会情勢 の変化等	林道草刈業務を刈り倒しにすることにより、コスト削減を行った。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	5,016 千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
草刈件数	目標	回	1	1	本庁予算	—
	実績		1	2		
修繕箇所数	目標	件	10	10		10
	実績		16	17		

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
草刈件数		計画的な草刈の実施	回	目標	1	1	—
				実績	1	2	—
修繕箇所数		計画的な維持補修の実施	箇所	目標	10	10	10
				実績	16	17	10

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	6,047	5,016	1,974	1,974				
A の 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0						
一般財源	6,047	5,016	1,974	1,974				
事業投入人件費 (B)	0.2 人	1,440	0.2 人	1,440	1.0 人	7,200	1.0 人	
フルコスト(A)+(B)	7,487	6,456	9,174	9,174				

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○	森林環境の保全のために維持管理をしています。平成22年度より林道草刈業務委託料・小規模土地改良補助金(林道)は農村整備課予算となった。
民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○	
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○ 林道の維持管理を行うことにより、市民の通行の安全性が保たれている。
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	コスト削減は維持管理業務の減少につながるため現行水準を維持。

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	補助金を本庁一括予算にすれば、必要な箇所に必要な予算配分ができやすくなり、全体では予算削減につながる。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 予算の範囲内で事業を実施した。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	土永 瑞穂
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 大山田は伊賀市においても特に林業の盛んな地域であり、今後も林道を維持管理を行うことで森林の適正管理が図れ、当地域の林業振興につなげて行きたい。
現時点における 課題、その他	なし
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	なし